



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717)
(FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 107

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2020. 4. 1 発行 事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp

新型コロナウイルス感染症で申し入れ

—社民党市議団—

新型コロナウイルス感染症が国内に拡がりつつある中、社民党仙台市議団は3月12日、第1回定例市議会の最終日に仙台市長に「市民のいのちと健康、暮らしを守るための申し入れ」を行いました。内容は、①感染予防及び治療体制、②市民生活への適切な対応等の充実、③学校休業に伴う児童生徒への適切な対応、④地域経済の影響への対策、計19項目です。



多様な力で未来を創る、 新たな杜の都への挑戦

令和2年第1回定例市議会終わる

令和元年第1回定例市議会は、2月7日から3月12日まで開かれました。

新たな杜の都への挑戦」とする抱負を述べました。そして、

若者参加のまちづくり

冒頭、郡市長は令和2年度の

第1の挑戦では、未来を担

の施政方針の表明を行いました。新総合計画を策定する新年度を「未来志向のまちづくりに向けたチャレンジする年にしたい」と位置づけ、主題を「多様な力で未来を創る、

若い力を育むとして「心の居場所づくり」として不登校対策をはじめ多様な教育環境の充実、「子育て応援のまちづくり」として、子ども医療

「若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦」「創造の可能性への挑戦」「自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦」「暮らしを守る安全・安心への挑戦」「市役所経営への挑戦」の5つの「挑戦」を強調しました。

費の所得制限の基準の緩和、区役所に「子ども家庭応援センター」設置など切れ目のない子育て支援策の拡充、若者が市政に参加しやすいよう「仮称」まちづくり若者会議」の創設などを掲げました。

「仮称」勾当台ビジョンの策定

第2の挑戦では、次世代型放射光施設や都心再構築、市庁舎建替えなどを柱とする「仮称」勾当台ビジョン」の策定、音楽ホールの基本構想の策定、「仙台未来創造企業創出プログラム」の実施、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の推進、市ガス事業の民営化推進、地域交通の確保などに取り組むこととしました。

第3の挑戦では、市中心部震災メモリアル拠点の整備、地球温暖化対策、プラスチック資源循環、「仙台未来防災フォーラム」及び「全国都市緑化フェア」の開催、都市の強靱化推進などを掲げました。



東日本大震災から9年

「仙台未来防災フォーラム」の開催

第3の挑戦では、市中心部

第4の挑戦では、高齢者生活コーデイネーターの配置、地域包括ケアシステムの体制強化、第5の挑戦では、PRA（ロボット機能等）、AIの先端技術の導入による効率化、市民サービスの利便性の向上などに取り組むを進めていくこととしました。

計58議案を審査

令和元年度の一般会計補正予算では、国の補正予算に対応した、小学校高学年・中学校でのタブレット教育を進め

るための市立学校のネット
ワーク環境整備に48億円余、
台風19号被災農家の作付補助
に4300万円をはじめ、道
路維持改良や公園整備、高速
鉄道や震災復興、新庁舎建設
基金への増額など145億円
余を計上しました。一方、令
和元年から2年への予算の移
し替え64億円余、消費増税に
伴う低所得者・子育て世帯
向けプレミアム付商品券事業
費約48億円などの不用額約
150億円などにより約69億
円減額補正となりました。

中央卸売市場条例を全面改正

大規模事業者等の参入など
市場自由化を目的とした国に
おける「卸売市場法」の改正
を受けて、市が設置者たる中
央卸売市場の業務に関する事
務を定め、安定的な卸売事業
の確保を図ること、花き部を
花き市場に変更する等のため
の「仙台市中央卸売市場業務
条例」の全部改正案が上程さ
れました。この条例に対して、
卸売、仲卸業者等の市場関係
者から中央資本事業者等の参

新年度一般会計の歳入は、
国の地方税法の改正を反映し
て法人市民税が約37億円（5.
1%）の減となりましたが、
法人事業税交付金の増や
地方消費税交付金の増など
もあり、対前年度比2.7%
15億円余減の約5411億円
が計上されました。

特別会計は3.3%、
106億円減の3064億
円、企業会計は2%、46億
円の2313億円となり、合
計は9年連続の1兆円超えの
1兆788億円となりました。

入は中小事業者の存続を危ぶ
む危険性等が指摘されました
が、市当局はほぼ今まで通り
の事業ができる内容を「規則」
で定めるとしました。
児童相談所体制の拡充や区
役所等における「子ども家庭
応援センター」設置による福
祉事務所職員増などの職員定
数条例の改正案、国の法改正
を受けて飼育猫の繁殖制限を
義務づける「人と猫との共生
に関する条例」の改正案、台

風19号による被災者の入学選
抜手数料・入学金・授業料を
減免できるための学校条例改
正案、津波被災地域の消防団
の休団等の消防団に関する条
例改正案、などが上程されま
した。

また、青年文化センターの
改修にかかる工事請負契約、
若林障害者福祉センターの指
定管理者指定の件なども提案
されました。

さらに、藤本副市長の選任
（再任）、固定資産税評価審
査委員の選任、人権擁護委員
の推薦、人事委員・監査委員
の選任に関する人事案件も提
案され、これら議案は全て可
決されました。

予算等審査特別委員会で

つじ議員が総括質疑

- 《採択された意見書》
- ・「新型コロナウイルス感染症対策の徹底を求める件」
 - ・「介護人材確保による持続可能な介護保険制度の確立を求める件」
 - ・「中高年層のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める件」

▼新型コロナ対策で一斉休校
で児童生徒の未履修の問題、
自宅での食事、犯罪やDVな
どに巻き込まれる危険性もあ
り、心のケアを。

▼新導入のコミュニティス
クールとの関係、学校
の自主権を大切にすべきこと。

▼マイナンバーカード交付促
進に1億7千万円が計上され
ているが、その費用対効果と
全国的なマイナンバーの不正
流出問題と本市の対応。

▼保育所運営費が人件費に反
映されていない問題。
▼中高年のひきこもり対策と

つじ隆一当面の 主な行動予定

- 4. 1 のりあい・つばめ実証運行出発式
- 4. 7 仙台市中央救急出張所開所式
- 4. 8 燕沢小入学式
- 4. 8 仙台市共同募金委員会理事会
- 4. 9 西山中入学式
- 4. 15 地域経済活性化調査特別委員会
- 4. 18 燕沢小PTA歓送迎会
- 4. 21 総務財政委員会
- 4. 29 メーデー宮城県大会
- 5. 3 宮城県護憲平和センター総会
- 5. 3 憲法を活かす宮城県民集会
- 5. 7 政令都市議員団政策交流会
（～8 福岡市）
- 5. 13 地域経済活性化調査特別委員会
- 5. 16 ソキウスせんだい理事会
- 5. 21 総務財政委員会
- 5. 23 燕沢小・学区民運動会
- 5. 30 ソキウスせんだい定期総会



決算特別委で質疑を行うつじ議員 (3/10)

その実施状況について。

▼第1層生活支援コーデ
ィネーターを設置することに
関して、第1層と第2層の区
別と支援の中身について。

▼国の「全世代型社会保障」
という名の下に、高齢者福祉
施策負担増と削減に向かっ
ていることの問題。

2020年度 市政の主要施策

□若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦

- いじめ防止対策推進
- 不登校対策推進
- 35人以下学級の実施
- 学校における働き方改革
- 学校と地域との連携推進
- すこやか子育てプラン推進
- 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援
- 若者の発想を生かしたまちづくり

□創造と可能性への挑戦

- 若者の地元定着推進
- 音楽ホール整備検討
- 都心の再整備支援
- (仮称)勾当台ビジョン策定
- 定禅寺通活性化推進
- 市役所本庁舎建替
- 次世代放射光施設関連産業振興
- ガス事業の民営化
- 農食ビジネス推進
- 東京オリ・パラを契機とし

- たスポーツ交流推進
- 東北連携推進
- インバウンド推進

□自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦

- 震災復興メモリアル事業
- 防災環境都市づくり推進
- 被災者生活再建支援
- 東部地域移転跡地利活用
- 蒲生北部地区復興再整備
- 下水道浸水対策
- 国土強靱化地域計画策定
- 地球温暖化対策推進
- ごみ減量・リサイクル推進

のりあい つばめ

実証運行へ

—4月1日に出発式、割引制度も新設—

燕沢地区内で取り組む地域交通の『のりあい・つばめ』は、これまで3回の試験運行を経て、4月から1年間の実証運行に取り組みことになりました。

運行ルート(パルシアに停留所を追加)、運航日は月・水・金曜日で変わりませんが、4〜9は1日8便、冬期の10〜3月は6便での運行となります。

す。

仙台市では新年度から「育てる地域交通 乗り乗り事業」をスタートさせることになり、収支率は燕沢地区の場合20%とし、高齢者(敬老パス所有者)・障害者(手帳保持者)は100円引きの割引運賃制度も導入されることになりました。

運行主体については、これ



毎月開催の燕沢地区交通検討会

までの「燕沢地区交通検討会」を、新たに規約を定め「燕沢乗合タクシー運営協議会」として取り組んでいくことになりました。



市役所本庁舎建替と勾当台ビジョン

□暮らしを守る安全・安心への挑戦

- 介護予防・日常生活支援総合事業
- 人た育成機能・組織力強化
- PRR(ロボット機能活用)、AI(人工知能)等の導入及び利活用推進
- 市民連携の推進
- 公民連携の推進
- 公共交通活性化等推進
- 市役所経営への挑戦
- 障害者差別解消
- オンライン診療実証実験
- 人と猫との共生支援
- 男女共同参画の総合的推進
- 杜の都の自転車プラン推進
- 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト推進
- ふるさと底力向上プロジェクト

宮城野区主要事業

- ・校舎等増改築(榴岡小)・設計(宮城野中)、校庭整備(高砂中)
- ・福田町駅結節点整備検討調査等
- ・海辺からの発信、海辺のふる里づくり支援
- ・蒲生北部地区復興再整備
- ・路面空洞対策
- ・つるがや地域連携・活動マッチング
- ・鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備推進
- ・都市計画道路整備(五輪)
- ・道路新設改良(鍋沼線等)
- ・橋りょう維持補修(燕沢歩道橋)
- ・公園整備(高砂中央公園等)

つじ隆一の活動日誌

- 1. 3 新田学区新年祝賀会
- 1. 5 燕沢学区新年祝賀会
- 1. 6 仙台市新年の集い、連合宮城 2020 新年交歓会
- 1. 7 仙台市消防出初め式、社民党「新春後援会」
社民党・県平和労組「新春の集い」
- 1. 9 市職労旗開き
- 1.10 市交通労組・水道労組旗開き
- 1.11 宮城交通労組・運輸労連・市交通労組川内
支部旗開き
- 1.12 鶴ヶ谷地区新年賀詞交歓会
- 1.14 市議会スポーツ市議の会「東北楽天激励会」
- 1.15 地域経済活性化調査特別委員会他都市視察
(～16日 福岡市、熊本市)
- 1.17 市職労中高年部旗開き
- 1.18 みやぎ生協連政党懇談会
- 1.21 総務財政委員会
- 1.22 燕沢地区交通問題検討会
- 1.25 社民党市議団市政・予算要望への回答
市立病院労組・学校職員労組旗開き
- 1.29 社民党全国幹事長会議(東京)
- 1.30 第1回定例会市議会議案説明、市労連政治政
策委員会、宮城生協メンバーとの懇談会
- 1.31 市交通労組管理職務支部旗開き
- 2. 1 市立病院労組旗開き
- 2. 2 社民党・平和労組・支持団体政策交流集会
- 2. 5 燕沢小地域防犯ボランティア感謝の会
- 2. 7 令和2年第1回定例会市議会
- 2. 8 みちのく宮城鹿児島県人会総会・新年会
- 2. 9 燕沢東部ゆうゆう会 20周年記念パーティ
- 2.10 野党共闘市民連合との協議
- 2.14 本会議(～20日)
- 2.15 つじ隆一市政報告・後援会「新春の集い」
- 2.17 燕沢地区交通検討会
- 2.19 市職労退職者感謝の会
- 2.20 第4回仙台市共同募金委員会理事会
- 2.21 総務財政委員会、市介護労組学習会・退職
者を祝う会
- 2.22 社民党定期全国大会(～23日 東京)
- 2.25 予算等審査特別委員会(～3月10日)
- 3. 4 宮城野区春闘労働講座
- 3. 7 西山中卒業式(不参加)
- 3.10 決算特別委で総括質疑
- 3.11 東日本大震災追悼式(献花のみ参加)
- 3.12 令和元年第1回定例会市議会閉会
- 3.18 地域経済活性化調査特別委員会
- 3.19 燕沢小卒業式(不参加)
- 3.22 社民党東北ブロック総会
- 3.28 社民党宮城県連合定期大会
- 3.29 菖浦沢町内会定期総会



10年越しの私道整備が実現(鶴ヶ谷東1丁目)

3月12日までに、鶴ヶ谷東1丁目の私道の舗装工事が終わりました。大雨の時などは長靴が必要な私道でしたが、市の私道整備補助事業を受けての整備で、申請協議以降約10年越し事業となりました。

『格差と貧困』などをテーマに政策交流集会

2月20日、社民党・県平和労組の政策交流集会が開催された後、「議員が基調報告を行った後、「社会の分断・階層化にどう立ち向かうのか」と題してNPO・ボッセ代表の今野晴貴さんが講演しました。



宮城野区春闘労働講座を開催

3月4日、宮城野区中央市民センターで宮城野区春闘労働講座が開かれ、つじ議員のあいさつ後、自治労宮城県本部委員長の星幸司さんが20春闘をめぐる課題などについて問題提起を行いました。

つじ隆一「市政報告会」

後援会「新春の集い」に100名参加



2月16日、つじ隆一「市政報告・後援会新春の集い」が燕沢コミセンで約100名の参加の下開かれまして。郡市長の激励のあいさつの後、アトラク

ションでは、ひぐちのりこ市議率いるちんどん屋「表小路社中」が応援にかけつけ、大いに盛り上がりました。

